

藤和けんこう通信



2013年5月号 VOL.31

朝起きて朝ご飯からがリハビリ

発行元：藤和マッサージ（訪問マッサージ・はりきゅう）

小田急相模原駅徒歩6分 神奈川県相模原市南区南台4-13-23 TEL 042-855-0420

『毎日、朝起きて元気に3食 食べる事がリハビリ！！』

【ケアマネジャーさんとの会話の中】

訪問マッサージを受けられている患者さんの中でリハビリが必要な方、ご本人・ご家族がリハビリを希望されてる方が多くいらっしゃいます。

どんなリハビリがいいのか??介護現場で利用者さんはどんなリハビリを受けられているのか??私自身興味があり、いろいろお話しを伺う中で、あるケアマネジャーさんとの会話の中で胸にグツときた言葉です。

どんな運動・リハビリよりも大事な事。。。『毎日朝起きて、元気に朝ごはんを食べる事からリハビリは始まる。そして3食しっかりと美味しくご飯を食べることが一番のリハビリ』

『本人が楽しくやれているかどうか ……リハビリ！！』

【ケアマネジャーさんとの会話の中】

さらに、リハビリのお話しを聞いていく中で、リハビリを行うに当たっての重要ポイントが『楽しくやれてるかどうか』というものでした。楽しくないと、リハビリではない!継続が重要。やらされているリハビリと楽しく自分自身から行っていくリハビリとは全く効果が違ってきます。リハビリは継続してこそ効果がでるものでありますから、そのためには楽しんでやれるかどうか、これをいつも頭において普通の施術に努めます。

ベテランから女性まで幅広いスタッフが揃っています！！



須藤 新



石黒 一星



添田 真理子



板垣 鋭司



榎本多佳子



松本勝則



牧口隆一



河内 宣夫



石井 旭



近藤マチ子



若井清美

『介護テニス』とはなんぞや!?

80歳になる通院されている男性患者さん

テニスが大好きで週に3回はコートに立ってプレーすることのこと。

『俺のテニスは介護テニスなんだ』と仰っています。

何の事が良く聞いてみると、ダブルスでペアを組んで試合をするときに、『介護する人される人のように、自分のところに来た球だけ打ち、自分で打てないとところは無理をしないで相手に打ってもらうようにする』それが、介護テニスなんだと仰っていました。なるほどなあと感心してしまいました!

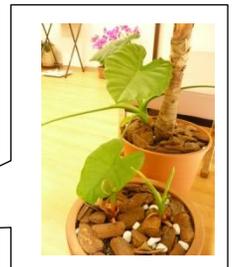
院内ギャラリー



患者さんからきれいなお花を頂きました



クワイズモ君 孫が誕生しました



でも藤和さんって、 “はりきゅう”はやっていないですよね??

訪問患者さんの初回体験の際にケアマネージャさんに同行して頂いた際に、言われました。

『〇〇さん（患者さん）、はりきゅうを昔よくやられていたんです。はりきゅう治療もいいですよね！

でも藤和さんって、“はりきゅう”はやっていないですよね~??』とケアマネさん。

『やっています~!! 治療院名は藤和マッサージですが、マッサージだけでなく、鍼灸治療もやっています~』とお答えしました。

積極的にはりきゅう施術を行っています。鍼灸をご希望の方はぜひ受けてみて下さい。鍼灸施術も医師の同意書があれば、マッサージと同じく保険適応されます。

〇●〇藤和けんこう通信 発行目的〇●〇

- ①皆様に医療・介護にまつわる有意義な情報を発信するため
- ②訪問マッサージ・はりきゅうをご希望の方がいましたらご利用・ご紹介頂くため
- ③当院の事を皆様に十分知ってもらうため



高齢者買い物代行の補助「見直しを」…行政評価

(2013年4月9日 読売新聞)

総務省は9日、高齢者の孤立化防止を目的に経済産業省が実施している買い物代行サービス業者への補助事業について、利用実績が低いとして、事業の中止を含めて見直すよう勧告した。

また、厚生労働省の見守り訪問支援事業についても、目標設定を適切に行うよう求めた。

行政評価・監視制度に基づき、総務省が2012年1月から13年4月にかけて17都道府県の48市区町村を対象に調査した。

経産省の事業では、離島の住民の注文に対し、商店街からの調達を代行する業者が補助金を受けて事業を開始したが、目標売上高1100万円に対し、売り上げ実績が目標の約1%の約10万円にとどまった例があった。既に同じ地区内に配達サービスを行っていた商業施設があり、需要見込みが適切でなかったと指摘している。

脳

原発避難1年で施設入所の高齢者死亡率2・7倍

(2013年3月27日 読売新聞)

東京電力福島第一原発事故後に避難した福島県南相馬市の高齢者施設5か所（入所者計328人）で、75人が事故1年以内に死亡し、死亡率が例年の2・7倍になっていたことが、東京大学大学院医学系研究科の渋谷健司教授らのグループの調査でわかった。

グループは「避難に伴うリスク」の検討が必要としており、原発事故を想定した自治体の地域防災計画や避難計画にも影響を与えそうだ。調査結果は27日付の米科学誌「プロスワン」（電子版）に発表される。

グループは、同市内にある8施設のうち、調査に応じた特別養護老人ホームなど5施設について、各入所者の避難回数や移動距離、ケアの状態などを調べた。政府は2011年3月12日に原発20キロ圏内に避難を指示し、同18日には30キロ圏内に拡大。5施設も避難を余儀なくされ、事故後1～2週間で、神奈川県や新潟県などへ避難していた。

1年間の結果を分析したところ、5施設のうち、要介護度が比較的低い人が入所する2施設の死亡率は事故前5年間とほぼ同じだが、3施設では3・01～3・93倍だったことが判明した。

1年以内に死亡した人の多くは、特殊な介助が必要な高齢者。避難中は介護士が付き添っていたものの、避難先で別の担当者を充てられたケースが目立った。

医療機関に「仕入れ控除」検討…消費税10%時

(2013年4月11日 読売新聞)

自民党は10日、消費税率引き上げに伴う医療機関の負担を軽減するため、医薬品や医療機器などに仕入れ税額控除の適用を検討する方針を決めた。

「医療と税制に関するプロジェクトチーム」（仮称）を11日にも設置し、年末にまとめる2014年度税制改正案で方向性を出す方針だ。15年10月に予定される10%への引き上げ時での実現を目指す。

医療費は消費税の非課税対象となっており、医療機関に対しては、仕入れ税額控除が適用されていない。代わりに、厚生労働省は消費税導入時と5%への引き上げ時に、医療機関が受け取る診療報酬を計1・53%上乗せした。しかし、仕入れ時に消費税を払っているのに患者には転嫁できず、医療関係者から「税負担が大きい」と改善を求める声が上がっていた。

発行元

無料体験マッサージ、いつでもお気軽にどうぞ

【医療保険適応 訪問マッサージ・はりきゅう】



藤和マッサージ

TEL 042(855)0420

〒252-0314 相模原市南区南台4-13-23 (小田急相模原駅徒歩6分)